

非稼働病棟の現状について
(令和4年県独自調査^(※1)結果)

令和4年4月1日現在

医療圏	医療機関名	病棟名	病床数	非稼働開始時期	予定	再開時の機能	具体的な時期	非稼働理由	解消に向けた取組
尾張西部	総合大雄会病院	中館5階	8床	2018年1月	再開予定	急性期	2025年4月	透析治療を担う複数名の腎臓内科医師の採用が計画通りに進まず当初計画が遅れていた。	透析治療は腎臓内科医の募集を行うと同時に、泌尿器科医や非常勤腎臓内科医で診療にあたることとし、計画を進めている。一部病棟の改装が必要で、具体的な図面の作成や工事費の見積りに入った。稼働を2025年4月としているが、建設作業員の不足や資材の調達が困難になっており、工事の遅れが懸念される。
	稲沢市民病院	3階北病棟	32床	2019年10月	再開予定	急性期	未定	病床稼働率が低かったことにより、医療スタッフを集約するため一時的に休床。	3階北病棟を一時的に休床した後、新型コロナウイルス感染症がまん延し、感染症患者を受け入れるため診療制限をせざるを得なかった。大学医局への積極的な働きかけなど継続した医師確保に努め、新型コロナウイルス感染症終息後、患者を受け入れていく。
		^(※2) 4階北病棟	46床	2014年11月	再開予定	急性期	2022年10月	2019年4月に開床の計画であったが、医師の確保ができなかったため。	稼働中の4階南病棟(46床)と休床中の4階北病棟(46床)とを合わせ、4階全体を一つの病棟(50床)で運用し、主に高齢者の転倒による骨折治療に特化した「転倒骨折センター」を2022年10月に開設。残る42床は2022年6月に返還済。

※1. 令和4年9月22日付け4医計第558号の調査(4月1日現在の状況を調査するもの)において回答したもの。

※2. 転倒骨折センターについては、令和4年10月3日にオープンしています。

42床の病床返還については、令和4年6月17日付け4医務第856-1号において愛知県知事の許可がされました。